

アジア大洋州医師会連合(CMAAO)とMOUを締結



令和6年8月24日(土)、「CMAAO 総会」がフィリピン・マニラで開催され、FAVA ワンヘルス福岡オフィス所長でもある藏内勇夫 FAVA 会長が出席し、CMAAO とワンヘルス活動協力に関する MOU を締結しました。

【アジア大洋州医師会連合(CMAAO)とは】

1956年、アジア大洋州地域の医師の交流促進、国際機関との関係確立、情報交換などを通じて、地域住民の一層の保健水準の向上を目的に日本医師会が中心となって設立されました。

現在では19カ国(一部地域)医師会が加盟し、WMA の地域医師会連合として、WMA 内におけるアジアからの発言力の強化を図っています。

総会では地域の医療が抱える諸問題について、シンポジウムやカンントリーレポートを通じて各国医師会から報告が行われ、その成果を文書として決議し、各国医師会で共有すると共に WMA にもフィードバックされています。

日本医師会は、事務総長及び事務局の役割を担い、各国間の情報交換や組織の活性化を支援していくなど、主導的役割を果たしています。

【藏内勇夫 FAVA 会長:挨拶】

私はこれまで、希少野生動物の保護や災害時の動物救援活動や、人間動物、環境の健康を統合的に向上させるワンヘルスの推進をライフワークとし取り組んでまいりました。

この MOU は、医師会と獣医師会の連携を強化する記念すべき第一歩であり、アジア・オセアニアがこの世界的な取り組みをリードするものです。

また、パートナーシップを通じて、私たちはすべての人々の健康と福祉を確保し、次世代に素晴らしい世界を残していくことを目指し、MOU に基づいてぜひ皆様と世界に貢献していきたいと思っております。

